久山年神社社報　第十二号
たよしの杜

宮司　本田孝裕

『栄光を夢みた英霊の記憶』

五十七年ぶりに二回目となる東京オリンピックが開催されました。コロナ禍の中でのオリンピック開催には賛否両論ありましたが、無観客でもテレビで中継される選手たちの雄姿には何度も感動させられましたし、応援しているこちらが逆に力を頂いた気がします。

今年も八月には、いつものようにお盆や終戦記念日を迎えましたが、祖先を敬うこの日とオリンピックも相まって思い返されるのは、かつて戦時中にもオリンピックを目指した人たちがいたことです。

彼らは戦争という悲しい出来事のために、残念ながら選手として充分な活躍もできずに戦地で命を落としましたが、戦争が無ければ間違いなくさらに活躍した人ばかりでしょう。

後世にその名が語り継がれている選手を一部ですがご紹介いたします。

※名前の下の「命」は「みこと」と読みます。

【水泳】「越戸優一命」　昭和十四年の日本選手権で五輪選手候補に選ばれ、翌年の自由形１５００ｍでは世界ランキング7位になるも、戦争のため五輪出場は叶わずフィリピンにて戦死。現在では故郷の岩手県の高校水泳新人大会で成績優秀な者に「越戸賞」が贈られています。
（岩手県出身　陸軍兵長　享年二十五歳）

【陸上競技】「鈴木門多命」　昭和五年、旧制川越中学校（現 県立川越高校）では全国陸上競技大会で二冠を達成。慶應義塾大学に進学後も国際大会で好成績を残し昭和十一年のベルリン五輪に出場しましたが、昭和十四年に中国河南省にて戦死。後輩たちには常に「陸上競技に愛を、記録に夢を、練習に心を」と語るほど練習熱心だったそうです。
（埼玉県出身　陸軍歩兵少尉　享年二十七歳）

【柔道】「廣瀬武夫命」　海軍予備校時代に講道館の嘉納治五郎に師事し、艦隊勤務になってからも柔道に精進したそうです。日露戦争中、旅順港での閉塞作戦において戦死。のちに生前の行為・人間性が軍人の手本であるとして、軍神と仰がれるようになりました。同じく戦死した湯浅竹次郎命とともに現在も講道館柔道の功労者（殿堂）とされています。
（大分県出身　海軍中佐　享年三十七歳）

【野球】「澤村榮治命」　京都商業学校（現 京都学園高校）の在学中に甲子園大会に三回出場。昭和九年に日米野球の全日本チームに加わりメジャーリーグ選抜チームと対戦、米国側も一目置くほどの好投を見せました。その後、日本最初のプロ野球チーム 大日本東京野球倶楽部（現 読売巨人軍）に入団、ノーヒットノーランを三回も達成するほど活躍しました。昭和十九年、台湾沖にて戦死。現在のプロ野球でも、その年に活躍した先発完投投手に贈られる「沢村賞」は彼の栄誉と功績にちなんだものです。（三重県出身　陸軍兵長　享年二十七歳）

【野球】「西村幸生命」　旧制宇治山田中学校（現 県立宇治山田高校）出身で、その後 関西大学卒業。大阪タイガース（現 阪神タイガース）に入団後は連覇に貢献し、初代巨人キラーと呼ばれました。昭和二十年フィリピンにて戦死。
（三重県出身　陸軍兵長　享年三十四歳）

これらの選手たちが掲載された冊子を社頭にて無料で頒布しています。ご希望の方はご連絡下さい。

残念ながら今年も中止いたします

過日、久山くんち実行委員会の話し合いが行われ、昨年同様、今年の例大祭（久山くんち）も、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、奉納芸能などの催しは中止する事となりました。（例大祭の神事および子供書道展の表彰式は行います）

二年連続の中止は非常に残念でなりません。

来年こそは盛大に行われるよう祈りたいと思います。

※写真は一昨年の様子です

「大原さんのてくてく御朱印さんぽ」で紹介されました。

6月30日、KTNテレビ長崎で夕方に放送中の「マルっと！」の中の「大原さんのてくてく御朱印さんぽ」のコーナーで久山年神社が紹介されました。

佐世保市在住の漫画家 大原由軌子さんが県内の神社を廻って、お話を伺いつつ御朱印を拝受するという番組です。

さすが漫画家さんです。最後に素敵なイラストも描いて頂きました。

公式サイト「大原さんのてくてく御朱印さんぽ」はこちらから

今年も田祈祷祭を無事にご奉仕いたしました

六月二十七日（日）例年の田祈祷祭をご奉仕いたしました。

田祈祷祭とは諫早に昔から伝わる伝統行事で、市内ほとんどの神社で田植えが終わる6月の末～7月始め頃に行われます。

各神職は、受け持つ神社を時間や日をずらしながらご奉仕して廻ることになるため、お正月の次に忙しいお祭りです。

祭典後は、お祓いした御幣（ごへい）を各役員が持ち帰り、自分の地区の田んぼの水口に立て、秋の豊作を祈ります。

お伊勢さま氏神さまのお神札（ふだ）をお祀りしましょう

お伊勢さまと氏神さまのお神札は家族の幸せを願うお神札です。朝には一日の無事を願い、夕には感謝のお参りをします。ご家族そろって手を合わせることは家族の絆を強めることにもなります。ご家族そろって幸せをお祈りしましょう。

新たにお神札を受けて頂いた方へ特製の神棚をプレゼント中です。詳しくは神社へお問い合わせください。
（数に限りがあります）

特製神棚プレゼント

のぼり旗の奉納を受け付けています

のぼり旗の奉納を随時受け付けています。「奉納」の字の下に、墨書きでご芳名を記入して神社参道に掲げます。ご希望の方は神社までご連絡ください。

【寸法】
長さ150cm
幅45cm
【奉納額】一枚
個人五千円
団体七千円

御奉納を頂戴いたしました

前号でご紹介を失念しており、すっかり遅くなってしまいましたが、年始にお二人の方から御奉納を頂戴致しました。

青葉台　中村修一様　奉献酒

新長崎製作所
代表取締役　梶原正雄様　金一封

遅延をお詫びして、ご紹介いたします。

編集後記

前号を三月に発行してから、他の仕事に追われて少し間が空いてしまいました。

新型コロナはワクチン接種が進み出しようやく明るい兆しが見え始めましたが、まだまだ油断ができない状況です。接種を進めつつマスクの着用、こまめな手洗いをしてお過ごし下さい。

九月に入り、菅総理が突然辞任！　新しい総理大臣は誰になるのでしょうか？

このコロナ禍を終息に向かわせる強いリーダーシップを期待したいと思います。

創建 文禄元年
久山年神社

社報「たよしの杜」第12号　令和3年9月15日発行
【発行所】久山年神社社務所
〒854-0066　長崎県諫早市久山町 2275-2
TEL 0957-26-5393 / FAX 0957-47-6888
https://kuyama-toshi-jinja.jp

ホームページ　フェイスブック　インスタグラム　ツイッター